

## II 中学校部会

# 国 語 科 部 会

### 研究主題 思考力を育てる言語活動の指導研究

#### ～読み・考え・表現する授業づくり～

### 1 主題について

本主題を継続して5年目を迎える。思考力育成をねらった授業であれば学習材は問わないことを共通理解として、今年度も研究していくこととした。

### 2 今年度の取組

月 日	実 践 内 容	月 日	実 践 内 容
4月12日	第1回総合研究会 研究主題設定・年間計画作成	10月26日	第2回総合研究会 授業研究会（大館東中学校）

### 3 研究内容

#### (1) 授業研究

- ・期 日 平成24年10月26日（金）
- ・会 場 大館市立東中学校
- ・単元名 2年 いにしへの心を訪ねる  
「扇の的」平家物語から
- ・授業者 庄司 和人



【切り返しの発問で思考を深める】

#### ① 授業者から

- ・「思考力を育てる」というテーマについて、市教研ではここ数年、説明文を中心に研究してきたが、昨年度から説明文にとらわれなくてもよいということで、古典を選んだ。古典で論理的思考力を育てるにはどうすればよいのか迷ったが、昔の人の生き方・考え方を現代と比較して考え、話し合うことで、複数のことがらを対置させ、その共通点や相違点を指摘する力を培うことにつながると考え、単元構想を組み立てた。
- ・古典は「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（ア）作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しむこと（イ）古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像することを指導することになっている。今回は単元として指導計画を練っていく中で、「扇の的」「徒然草」「漢詩」を通して、（イ）を中心に進めていくことにした。古典の学習において、論理的思考力を育むにはどんな方法があるか、勉強したい。

#### ② 協 議

##### 【授業について】

- ・昔と現代の生き方・考え方を比較する視点について、本時の4つの視点は、物語の中で人々の思いが行動に表れているところを設定している。単元の最後に共感する登場人物や作者に手紙を書く、という目的を生徒に伝えてあるので、生徒たちも考えやすかった。また、自分の体験を生かして話すことが出来ていた。
- ・4つの視点について、共感できるものもあれば共感できないものもある。それを総合的に判断してどちらかに絞るのは、生徒たちにとって難しかったのではないかと。2つくらいに絞り、本時は意見交流を中心にし、最終的に「まとめる」ということをゴールにしたい。

- ・視点が多かったので、意見交流の中でどの視点に反論しているのか分からなかった。
- ・昔と現代の生き方・考え方を比較することは、時代背景が違うから簡単にはできない。時代背景をしっかり抑えた上で比較させなければならない。
- ・比較の仕方が「似ている？似ていない？」というのが、良かった。「同じ？違う？」では白黒はっきりしすぎだし、「共感する？しない？」より分かりやすいと思う。
- ・自分の考えを堂々と述べるができる生徒たち。話したくて仕方がない感じが良かった。特に、反論が言える男子がすばらしい。



【生徒の意見を生かした授業展開】

#### 【古典の評価について】

- ・今回の学習内容の評価の仕方は、「昔と現代の考え方を比較する」を『伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項』で評価、「比較して考えたことをまとめる」を『読むこと』で評価する。具体的に言うと、「違いに気付く」が「伝統的な～」,「どんな違いなのか読み取る」が「読むこと」。古典の評価方法については、「評価規準の作成, 評価方法等の工夫改善のための参考資料」(国立教育政策研究所)を参考にして欲しい。教師がどこを狙っているか, 何を評価するかで決まる。

#### (2) 指導助言 (山口 史人 指導主事)

- ①一つ一つの意見を丁寧に取り上げ、生徒を大事にしていると感じた。生徒の意欲につながっていくと思う。また、学習のめあてや流れが分かりやすく、生徒自身が最終的にどこに向かえばよいのか把握できていた。
- ②視点についての、自分の立場を明確にできる時間も保障されていた。そのため、自分の体験や知識と結びつけて意見を持ち、それを支える根拠を明確にすることができていた。
- ③今回の比較する授業では、比較対象である「現代の人」が自分なのか、一般の人なのかをはっきりさせたい。比較対象が広がることで、考えがまとまらなくなる。
- ④意見交流をして自分の考えを深めることにつなげるという活動なので、深める前と後での変化を見たかった。それが「評価」につながる。
- ⑤意見交流の場面では、もう少し焦点化すると良かった。話題が広がりすぎてしまったので、教師が話し合いをコーディネートして、方向付けなければならない。何のための意見交流なのかをしっかりと押さえ、「深める」ことを中心に進めたい。

## 4 成果と課題

### (1) 成果

- ・古典の学習において、思考力を深める手立ての一つを授業者に提示していただいたおかげで、比較のさせ方、話し合いの深め方等について、部会全体で考え、学ぶことができた。また、古典の評価についての迷いを解明することができた。教師のねらいを明確にすることを心がけ、指導に当たりたい。

### (2) 課題

- ・単元の組み立て方について、さらなる研修が必要である。